

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ア) 総合相談支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>総合相談支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 3 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 独居高齢者が抱える不安や困りごとを少しでも解消し、自立した生活を維持できるよう支援します。</p> <p>内容： ・地域教室の開催、地区サロンへの参加を通じて、独居高齢者に対し、介護予防や認知症予防、特殊詐欺被害防止の普及啓発を行いました。 ・独自に包括新聞を発行し、独居高齢者が利用できるサービスを紹介しました。 ・民生委員、自治会、社協、介護保険事業者、消防局、市と共同で高齢者の防災に関する地域ケア会議を開催し、災害時の高齢者の避難支援や安否確認方法について検討しました。 上記の取組みを実施したことにより、庄内地域に暮らす独居高齢者の不安解消に少なからず寄与できました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>独居高齢者の増加という地域特性から、その支援体制を強化しています。また、地域の社会資源・諸団体と協働して、高齢者の防災に関する課題に取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域の社会資源や諸団体と、支援体制・支援内容についての情報交換・情報共有を行うことで、実効性と確実性の向上につながる取組みを行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>介護保険制度のみでは解決の困難な地域課題の増加をふまえ、地域や社会資源とより</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>・今後、独居高齢者の増加が見込まれる中、入退院時や通院の支援、服薬の管理、行政手続きや金銭管理、死後事務などに関する相談が増えることが予測されますが、既存の制度や介護保険サービスのみでは対応することが困難です。</p>	<p>密に連携し、支援体制を拡充することを期待します。</p>
<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>・近年、多数設立されている「終身サポート事業」について、そのサービス内容と費用、事業者などの実態を把握し、有効に活用する方法を検討します。</p> <p>・費用負担ができない独居高齢者に対して、本人の生活と尊厳を守るために必要な最低限のサポートを行うしくみの構築について市や社会福祉協議会と協議します。</p>			

豊中市地域包括支援センター事業評価表

イ) 権利擁護事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>権利擁護事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 高齢になっても、認知症になっても、個人の権利を侵害されることなく、可能な限り住み慣れた地域で自分が望む暮らしが継続できるよう支援します。</p> <p>内容： ・地域教室や地区サロンにて、特殊詐欺被害防止の注意喚起・啓発を行いました。 ・独自に発行している包括新聞において、エンディングノートの説明を行い、高齢者が自らの人生を振り返り、最期までどのように生きたいかを考える機会を提供しました。 ・弁護士を講師に迎え、介護福祉専門職向けに高齢者虐待を予防するための研修を実施します（R8年2月開催予定）。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域教室や地域のサロン等において、特殊詐欺被害防止の啓発活動を継続しています。独自に発行し、圏域に定期的に配布している包括機関誌でも、終活に関する周知・啓発を行っています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>定期的に包括機関誌を発行し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活するため、権利擁護に関する情報提供を行っています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の割合が高いですが、自治会加入率は減少し、地区サロンへの参加者は減っています。地域とのつながりが希薄な高齢者の実態把握ができておらず、必要な情報が届いていないと思われます。</p>	<p>【課題】</p> <p>啓発活動において、対象者が自分ごととして受けとめ、認識できるような説明方法や啓発内容の工夫・拡充に期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域教室、地区サロン、通いの場など的高齢者が集まる場において、特殊詐欺被害防止に関する啓発を行います。 ・スーパーやドラッグストアなど、高齢者がよく利用する場所に出向いて、健康や介護についての相談に応じるとともに、特殊詐欺被害防止や高齢者虐待防止、成年後見制度の活用についても情報提供を行います。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 介護支援専門員のスキルアップと資質向上を図ります。</p> <p>内容： 困難事例と認知症事例に関する事例検討会を多職種が参加する形式で実施しました。参加した介護支援専門員からは、多様な視点をふまえて、課題を整理し、解決の方策を学ぶ機会となり、新たな気づきを得ることができたと意見があり、介護支援専門員のスキルアップにつながりました。</p> <p>【課題】</p> <p>・法人の事情等で研修に参加できない介護支援専門員もおり、圏域全体の介護支援専門員の資質向上を図ることが難しい状況です。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員のみならず、研修や検討会によっては、福祉職、医療職など多職種も参加して勉強会・検討会・研修を実施しています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>圏域内すべての居宅介護支援事業所を訪問し、介護支援専門員が抱える課題や現状、研修体制、業務課題等を把握することによって、次年度以降の研修対象の拡充と内容の改善につながるよう取り組んでいます。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数での事例検討会や相談会を、開催時間帯を分けて複数回行うことで、介護支援専門員が参加しやすい環境を整え、より多くの介護支援専門員の資質向上をめざします。 ・介護支援専門員が年間予定を調整しやすいように、年度初めに研修開催予定を伝えるようにします。 	<p>【課題】</p> <p>圏域内のすべての居宅介護支援事業所に対する面談アンケート結果を活用した今後の支援体制の構築に期待します。</p>
--	--	---	--

豊中市地域包括支援センター事業評価表

エ) 介護予防ケアマネジメント事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>介護予防ケアマネジメント事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 圏域内にある居宅介護支援事業所の介護支援専門員が積極的に研修に参加し、自立支援を意識したケアマネジメントを実践できるようにします。</p> <p>内容： ・年度初めに全ての委託先居宅介護支援事業所に対して、市の介護予防事業の変更点、ケアプラン作成時の注意点、研修予定を盛り込んだ案内文を送付しました。 ・庄内圏域内のすべての居宅介護支援事業所を訪問し、情報提供とヒアリングをしたうえで助言を行いました。 ・南部地域の介護支援専門員有志がスキルアップをめざして自主的に開催している研修「庄内ケアマネット」に講師として参加し、ケアプラン作成時の注意点と自立支援の重要性について講義を行いました。 ・包括企画の研修のみならず、介護支援専門員が自ら企画する研修に参加することで、より多くの介護支援専門員に自立支援に資するプランの重要性を理解してもらうことができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>居宅介護支援事業所に研修や制度変更等の周知・啓発を行っています。圏域内で行われており、介護支援専門員が自主的に開催している研修への協力・支援を行っています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>圏域内の介護支援専門員を対象に、演習形式の研修を実施することによって、実務に反映できる知識とノウハウを習得できるよう支援しています。</p> <p>【課題】</p> <p>圏域内のすべての居宅介護支援事業所に対する面談アンケートを活用した今後の研修</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス利用を前提としてケアマネジメントを進めてしまい、短期集中サービスや通いの場などの一般介護予防事業を積極的に提案しない介護支援専門員が依然として存在しています。 ・自立支援への取組みが進み、介護度の軽度化や介護保険サービスからの卒業が増加すると、居宅介護支援事業所の収益が悪化します。 <p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年定期的に行っている介護支援専門員向け研修において、引き続き自立支援の理念と実践方法について周知します。 ・介護支援専門員に高齢者の自立支援に役立つ地域資源の情報を提供します。 ・介護度の改善や介護保険サービスからの卒業に対して、インセンティブを付与する制度の創設を市に提案します。 	<p>内容の充実等の取組みに期待します。</p>
--	--	--	--------------------------

豊中市地域包括支援センター事業評価表

オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症予防などにかかる啓発活動について、工夫を凝らした取組みを推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 個々のオレンジカフェが安定的に運営され、地域の社会資源として定着することで、認知症当事者の意欲向上、家族の負担軽減につなげます。</p> <p>内容： ・個々のオレンジカフェの運営状況に配慮しつつ、それぞれの特徴が発揮できるように後方支援を行いました。また、オレンジカフェ同士の横の連携強化や当事者、【注1】 オレンジャーを含めた参加者同士のつながりを促進するイベントを実施しました。 ・毎月開催している「くらしの保健室」を通じたつながりから、これまでオレンジカフェがなかった庄内駅前エリアに、新たにオレンジカフェを開設することができました。</p> <p>【注1】 オレンジャー 近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の方や家族に対する早期の生活面での支援等を行うための「チームオレンジ」の担い手となる人。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>圏域内のオレンジカフェは、それぞれのカフェの強みや特性を活かした活動を行っています。【注1】 オレンジャーの活用や、オレンジカフェ同士が交流する機会を設けるなど後方支援の拡充を図っています。</p> <p>【注1】 オレンジャー 近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の方や家族に対する早期の生活面での支援等を行うための「チームオレンジ」の担い手となる人</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>専門職、地域住民、社会資源等と個々のカフェが連携し、参加者の拡大を図ることによって、活動の拡充につなげています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症当事者のオレンジカフェへの参加割合が低い状況です。 ・7つあるオレンジカフェすべてに地域包括支援センター職員が毎回参加することは難しいため、運営状況をどのように把握するか検討する必要があります。 	<p>【課題】</p> <p>引き続き認知症当事者の参加促進に向けた取り組みに期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ同士、オレンジャー同士の交流会を企画します。 ・地域福祉関係者や医療・介護関係者にオレンジカフェの目的や役割を周知する機会を増やし、有効な地域資源として認知度向上を図るとともに、支援者として積極的に参加してもらうよう取り組みます。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

カ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
6	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 地域住民が介護予防について理解を深め、自ら取り組むことで健康寿命を延ばし、自立した生活をおくることができようにします。</p> <p>内容： ・はつらつ教室の担当者と定期的に情報交換を行うことで、教室卒業後も介護予防への取組みを継続できるよう支援を行いました。 ・地域教室、地区サロン、健康大学において、介護予防の普及啓発活動を行いました。 ・独自に発行している包括新聞の1面に介護予防に関する特集記事を掲載することで、普段関わりのない地域住民に対して、介護予防の重要性を周知することができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>圏域内の地域教室・地区サロン・健康大学・はつらつ教室等で、情報交換や介護予防に関する普及啓発活動を行っています。包括機関誌を活用し、介護予防につながる啓発を行っています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>はつらつ教室との連携で、教室利用中や利用後に必要な地域資源の情報提供や、必要に応じて介護予防事業につなげるなど、切れ目のない自立支援に向けた取組みを行っています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に関する情報を高齢者にわかりやすく、かつ職員が容易に更新できるかたちで提供できるツールがありません。 ・一般の高齢者に「介護予防」という考え方を広く浸透させ、社会参加を促すような取組みが不足しています。 ・地域教室や地区サロン、相談対応時に介護予防の啓発を行いますが、その後、高齢者が自分ごととして、継続して取り組めるようなしくみが十分にありません。 	<p>【課題】</p> <p>介護予防に活用できる地域資源の情報提供内容の充実と、啓発方法の工夫・拡充に期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉関係者や医療・介護関係者と協力して、地域資源の情報を定期的に収集・整理し、見える化したうえで共有できるようなしくみを検討します。 ・高齢者が日常的に利用するスーパーやドラッグストアなどにおいて、健康相談、体力測定等を行い、「介護予防」の普及啓発を行います。 ・介護予防への意欲を持つ高齢者に対して、継続的な支援を行い、はつらつ教室や地域リハビリテーション訪問につなげます。卒業後は、体力測定、通いの場につなげていき、切れめのない支援により、行動の定着を図ります。 ・上記の取組みを促進させるために、地域包括支援センターの公式 LINE を導入します。 	